

大町町「地域おこし協力隊（こどもの居場所を作りたい「こどもサポーター）」

募集要項

1 募集概要

大町町は、佐賀県の中心に位置する人口 6,000 人ほどの小さな自治体です。子育て環境としては、町内には保育園が 2 園、小中一貫校が 1 校あります。

そんな大町町では政策として子育て支援の充実を掲げています。出生祝い金制度や保育園の副食費（給食費）無償化、高校生までの医療費の無償化など様々な取り組みをしてきました。また、現任の地域おこし協力隊が子育て広場や、地域の方々と交流できる場所を運営しております。一方で、こども達が集えるような居場所やこども食堂などにはまだまだ手を広げられない状況です。

現代のこども達の遊び方は、YouTube やテレビゲームといったような、家で一人で遊ぶものが主流となり、近所や同年代のこども達同士で遊ぶことが少なくなっているように感じます。

大町町にも以前は、町の駄菓子屋や本屋、たこ焼き屋、スーパーのゲームコーナーといった、こども達が友達同士で集まって遊べるような場所、学校でも家でもない第三の居場所がありました。

近年の商業施設の大型化の影響からか、こども達がお小遣いで行けるようなお店は、町内にはあまり残っておらず、こども達の「居場所」がなくなっている現状があります。

様々な事情で学校に行くことができずに、いつもひとりでいる子。

家でも学校でも心を開けずに、誰かに話を聞いてほしい子。

ひとりっ子で近所に同年代の子もおらず、いつもひとりで遊んでいる子。

かつてこども達の楽しみ場だった、家でもない、学校でもない、こども達の「第三の居場所」が求められているのではないかとの思いから、大町町で「こどもの居場所」や「こども食堂」を開設することで、こども達自身が安心して暮らすことができる町にしたいと考えております。

また、都市地域の意欲あふれる人材を積極的に大町町に受け入れることにより、町に新たな風を取り入れ、町の活性化につながる施策を進めるとともに、町への移住・定住を促し、まちづくりに関心を持ってくれる人を増やしていきたいと考えております。以上の二つを実現していくため、「地域おこし協力隊員（こどもの居場所を作りたい「こどもサポーター）」を募集します。

2 ミッション名

こどものしあわせを作りたい！こどもの居場所を作る「こどもサポーター」

【活動内容】

- ① 子どもたちと触れ合う
- ② こどもの居場所・こども食堂の計画・運営
- ③ 担当課内での定期ミーティング
- ④ 災害時の避難所のサポート

<活動の詳細>

① 子どもたちと触れ合う

こどもの居場所・こども食堂を開設するには、どのようなこどもがいて、どのような支援が必要なのかを知ることが大事です。こどもと触れ合い仲良くなることでそれを知ることができるだろうと考えます。

とはいえ、難しいことではなく、現任の地域おこし協力隊が運営している地域交流スペース Peri.（ペリドット）には放課後や土曜日にこども達が集い交流をしています。そこを通してこどもたちや地域の方たちとの接点を増やしてください。また、この仕事の魅力の1つはいろんな方と触れ合う機会がたくさんあることです！こども達だけでなく、地域の方々ともたくさん出会って仲良くなって欲しいです。

② こどもの居場所・こども食堂の計画・運営

こどもの居場所・こども食堂を開設するにあたり、どこで開設するのか、どのくらいの時間開設するのか等を計画し、地域の方々や行政の援助を受け、実際に運営をしてもらいます。一人で責任を負うのではなく、一緒に相談しながら、よりよい居場所やこども食堂を作っていきたいと考えております。

※①・②で想定される具体的な活動のイメージ

- ・既存の交流スペースの手伝い
- ・開設場所の開拓
- ・開設場所の整備（机や椅子を用意したり、心地いい居場所にするための飾りつけ等）
- ・イベントなどの企画運営
（イベントの例）みんなで作ろう！カレーの日 など
- ・こどもの居場所・こども食堂の運営
- ・年に1度の活動報告会

④ 担当課内での定期ミーティング

月に1度定期的なミーティングを開催予定です。活動状況の共有、大町町で楽しく暮らしていけているかの確認などをこまめに話せたらと思っています。お互いに本当に忙しいときにはパスすることもあるかもしれませんが、相談しながら進めましょう！

⑤ 災害時の避難サポート

ミッションとは関係ないですが、大町町役場の会計年度任用職員を含む職員が従事する仕事になります。基本はこどもサポーター（地域おこし協力隊）として活動してもらいますが、大町町役場の職員として、台風や豪雨、地震などの際に避難所が設置された場合には一緒にサポートをお願いします。

大町町は令和元年と令和3年の2回、豪雨の被害を受けています。その際にも前任の先輩隊員さんたちに子どもの居場所作りなど、活躍してもらっています。

<1日の流れイメージ>

8:30	出勤
~12:00	活動
12:00~13:00	昼休み
13:00~17:00	活動
17:00	帰宅

<1週間の流れイメージ>

月	休み
火	役場内にて打合せや作業
水	Peri.にてこども達と交流（毎週水曜日は早く学校が終わる為）
木	こどもの居場所・こども食堂についての情報収集・勉強
金	Peri.にて、イベント準備、地域の方との打合せ
土	イベント開催（こども食堂）
日	休み

<3年間の流れイメージ>

〔1年目〕

- ・大町に暮らす子どもたちをはじめ、パパ・ママ色んな人たちと仲良くなる。
- ・現任の地域おこし協力隊のイベントなどの手伝いや自発的に企画運営をする。
- ・年度末に活動報告会を実施する。

↓

〔2~3年目〕

- ・1年目のイベントの手伝いや企画運営を土台にこどもの居場所・こども食堂の計画を作成する。。
- ・計画を基にこどもの居場所・こども食堂をやってみる。
- ・年度末に活動報告会を実施し、レポートを提出する。

まず 1 年目は、しっかりと大町に暮らす色んな人たちのことや町のことを知って欲しいです。お互いに顔を知り人柄を知ることによって、2 年目以降の活動が飛躍的に行いやすくなると考えています。

それから、2 年目以降に定住を目指す場合には、勤務日数の調整が可能になります。定住に向けた資格取得や住居の確保、就職活動、起業準備が行いやすいよう週 5 勤務から週 4 勤務に変更が可能です（週 4 勤務の場合は給与が少し減額になります）。

3 募集人員

1 名（性別は問いません）

4 募集対象

- ① 心身ともに健康で誠実に勤務ができる方
- ② 地域の活性化に意欲があり、地域が抱える課題の解決に積極的に取り組むことができる方
- ③ 子どもが好きで、子育て支援に関心がある方
- ④ 人の話に耳を傾けたり、収集した情報を整理することが好きな方
- ⑤ 普通自動車運転免許を所持している方
- ⑥ 一般的なパソコンの操作ができる方
- ⑦ 地方公務員法第 16 条に規定する欠格条項に該当しない方
- ⑧ 次の掲げる要件のいずれかを満たし、生活の拠点を大町町に移し、大町町へ住民票を異動させることができる方
 - ・ 現在、3 大都市圏ををはじめとする都市地域等に 居住されている方（※）
 - ・ 大町町以外において、地域おこし協力隊として同一の地域での活動経験が 2 年以上かつ、委嘱期間終了後 1 年以内の方
 - ・ JET プログラム修了者（2 年以上 JET 参加者として活動し、かつ JET プログラム終了から 1 年以内）の方

※総務省「地域おこし協力隊」の WEB ページに掲載されている「特別交付税措置に係る地域要件確認表」における地域要件に該当すること。

http://www.soumu.go.jp/main_content/000717676.pdf 5

勤務地

大町町役場内の子育て・健康課に在籍しますが、大町町内をフィールドとして様々な場所・様々な人と関わるために出張もあります。

6 雇用形態・期間

- ・ 大町町地域おこし協力隊設置要綱に基づき町会計年度任用職員として職務を委嘱しま

す。

- ・ 委嘱期間：採用日から令和 8 年 3 月 31 日まで

採用日は、採用決定日次第で調整可能ですのでご相談ください。

※2 年目以降は年度単位の更新となり、最長で 3 年間となります。

7 勤務条件等

(1) 報酬等

[1 年目] 月額 291,600 円 (賞与なし)

[2, 3 年目] 月額〇〇円 (下記勤務日数に応じて変動あり・要相談) ～291600 円

(賞与なし、金額は勤務日数による)

(2) 勤務日・勤務時間

[1 年目]

週 5 日 8:30～17:00 (休憩 12:00～13:00)

[2～3 年目]

・ 週 4～5 日 8:30～17:00 (休憩 12:00～13:00)

※定住活動等のため勤務日数の調整可能 (要相談)

・ 活動内容により時間変更可能

・ 会計年度任用職員として、勤務時間外や災害時の避難所運営等に関わる場合があります。その際は時間外勤務手当 又は振替休日に対応します。

(3) 有給休暇

10 日

(4) 待遇・福利厚生

①住居は大町町で用意します。(家賃は町で支払います。)

②社会保険 (雇用、健康、厚生年金)

③健康診断

④活動に必要な車両は貸与します。

8 申込受付期間

令和 7 年 2 月 14 日 (金) から令和 7 年 2 月 28 日 (金) 17:00 必着

9 選考方法

(1) 第 1 次選考【書類選考】

受付期間内に必着のこと。書類選考の上、結果を令和 7 年 3 月 7 日 (金) 以降に全員に文書で通知します。

〈提出書類〉

(ア) 大町町「地域おこし協力隊」応募用紙
(イ) 志望動機(400字程度)・自己PR(字数無制限)を任意の様式に記入
(ウ) オンライン面談希望時間票
(エ) 住民票抄本(PDF可)
〈提出先〉〒849-2101 佐賀県杵島郡大町町大字大町 5017 番地
大町町役場 子育て・健康課 子育て支援係
kaikeinendo@town.omachi.saga.jp

(2) 第2次選考

【面接】

第1次選考合格者については、面接による第2次選考を実施します。

Zoomでオンライン面接も可。

面接予定日

3月14日(金) 15日(土)で日時調整します。

オンライン面接をご希望の方は別紙「オンライン面談予定表」を提出してください。1人1時間程度を想定しています。

面接場所

大町町役場庁舎またはオンライン面接(ZoomまたはWebex)

※応募に係る経費(書類申請費用及び面接時の交通費など)はすべて応募者の負担となります。

※選考の経過及び結果についての問い合わせには応じられませんのであらかじめご了承ください。

※選考結果は令和7年3月28日までに全員に通知します。

10 問い合わせ先

〒849-2101

佐賀県杵島郡大町町大字大町 5017 番地

大町町役場

子育て・健康課 子育て支援係(担当:橋富)

TEL0952-82-3186 FAX0952-82-3060

kaikeinendo@town.omachi.saga.jp

11 その他

本町までの交通費及び引っ越し費用、住居の建物火災保険料、生活備品、光熱水費、その他の経費はご負担いただきます。